



2026年5月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年1月14日

上場会社名 株式会社 I G ポート 上場取引所 東
 コード番号 3791 U R L <http://www.igport.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川光久
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理担当 (氏名) 栗本典博 T E L 0422-53-0257
 半期報告書提出予定日 2026年1月14日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年5月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年6月1日～2025年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
2026年5月期中間期	百万円 6,210	% △19.2	百万円 248	% △70.0	百万円 296	% △64.4	百万円 257	% △45.6
2025年5月期中間期	7,689	47.0	825	38.0	830	10.7	473	△13.5

(注) 包括利益 2026年5月期中間期 255百万円 (△43.0%) 2025年5月期中間期 448百万円 (△18.7%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
2026年5月期中間期	円 銭 12.87	円 銭 —
2025年5月期中間期	24.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
2026年5月期中間期	百万円 13,429		百万円 9,569		% 71.3	
2025年5月期	13,092		7,829		59.8	

(参考) 自己資本 2026年5月期中間期 9,569百万円 2025年5月期 7,829百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年5月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 11.00	円 銭 11.00
2026年5月期	—	0.00	—	—	—
2026年5月期（予想）	—	—	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年5月期の連結業績予想（2025年6月1日～2026年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 15,772	% 8.0	百万円 1,792	% 25.7	百万円 1,659	% 16.9	百万円 1,358	% 64.1

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社 (社名) 一、除外 2社 (社名) 株式会社シグナル・エムディ、Great Pretender razbljuto 製作委員会

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年5月期中間期	20,221,600株	2025年5月期	20,221,600株
② 期末自己株式数	2026年5月期中間期	175株	2025年5月期	1,091,641株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年5月期中間期	20,013,374株	2025年5月期中間期	19,130,030株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等の注記)	11
(重要な後発事象)	13

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、物価上昇の影響により実質賃金のマイナスが続く中、雇用や所得環境が改善しており緩やかな回復基調にあります。一方、地政学リスクが高いまま長期化していることや、各国の金融政策の動向による為替相場や株式市場、物価の変動について注視が必要となっており、先行きは依然として不透明な状況となっております。

このような事業環境のもと、当社グループはアニメーション作品の企画・制作を行う映像制作事業、コミック雑誌等の企画、製造、販売及び電子コミックスの配信を行う出版事業、作品の二次利用による印税・収益分配金等を得る版権事業、キャラクター商品の卸販売等を行う商品販売事業を中心に取り組んでまいりました。

これらの結果、当中間連結会計期間の売上高は6,210,164千円（前年同期比19.2%減）、経常利益は296,007千円（前年同期比64.4%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は257,518千円（前年同期比45.6%減）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

なお、前連結会計年度よりセグメント区分を変更しており、前年同期比較につきましては、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細につきましては、「2. 中間連結財務諸表及び主な注記（4）中間連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記）」に記載しております。

① 映像制作事業

映像制作事業におきましては、テレビ用アニメーションは「左ききのエレン」「花ざかりの君たちへ」「春夏秋冬代行者 春の舞」等、劇場用アニメーションは「劇場版ハイキュー!! VS 小さな巨人」、配信用アニメーションは「Star Wars Visions Presents -The Ninth Jedi」「THE ONE PIECE」等、納品へ向けそれぞれ制作しております。

テレビ用アニメーションの「SPY × FAMILY Season 3」は、納品しテレビでの放映となりました。その他に、遊技機やCM等のアニメーションを制作し納品しました。

一部の作品については、制作期間の長期化や、人件費、CG制作費等の外注費が高騰しており、受注損失引当金を計上しております。

以上により、当事業の売上高は3,811,889千円（前年同期比14.9%増）、営業損失は310,266千円（前年同期は699,097千円の営業損失）となりました。

② 出版事業

出版事業におきましては、月刊誌「コミックガーデン」、コミックス「王太子に婚約破棄されたので、もうバカのふりはやめようと思ひます 7巻」「転生貴族の異世界冒険録 14巻」等、定期月刊誌6点、並びに新刊コミックス・書籍79点を刊行しました。

また、既刊コミックスの「魔導具師ダリヤはうつむかない～Dahliya Wilts No More～」は、電子書籍を中心に特に販売好調がありました。

なお、これまで売れ筋の作品であった「なろう」系ジャンルの続刊作品やオリジナル新規作品を含めた全体の売上が紙書籍・電子書籍ともに前年同期実績を下回っており、今後も市場の動向を見極めながら対応していく予定です。

以上により、当事業の売上高は1,077,830千円（前年同期比8.1%減）、営業利益は120,674千円（前年同期比53.7%減）となりました。

③ 版権事業

版権事業におきましては、「ハイキュー!!」「怪獣8号」「進撃の巨人」「BUBBLE」「SPY × FAMILY」等のシリーズタイトルを中心に、二次利用による収益分配を計上しました。

前期は「君に届け 3RD SEASON」や「劇場版 ハイキュー!! ゴミ捨て場の決戦」の収入が大きく寄与したため、その反動で売上高は減少しております。

以上により、当事業の売上高は1,017,913千円（前年同期比64.1%減）、減価償却費は前年同期と比べ減少し、営業利益は641,307千円（前年同期比49.7%減）となりました。

④ 商品販売事業

商品販売事業におきましては、I.G & WIT Anime Studio Store や国内販売店への卸売りを行いました。

以上により、当事業の売上高は185,711千円（前年同期比24.3%減）、営業損失は96,444千円（前年同期は59,854千円の営業利益）となりました。

⑤ その他事業

その他事業におきましては、雑誌のイラスト描きや講師料等により、当事業の売上高は116,818千円（前年同期比2.4%減）、営業損失は4,782千円（前年同期は853千円の営業利益）となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

資産につきましては、前連結会計年度末に比べ337,849千円増加して13,429,939千円となりました。主な要因は、現金及び預金が1,726,630千円、商品及び製品が13,497千円、映像マスターが5,809千円増加し、一方、売掛金及び契約資産が1,325,924千円、前渡金が112,635千円減少したことによるものであります。

（負債）

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1,402,314千円減少して3,860,380千円となりました。主な要因は、未払金が32,067千円増加し、一方、前受金が537,346千円、未払法人税等が438,930千円、受注損失引当金が257,242千円減少したことによるものであります。

（純資産）

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,740,163千円増加して9,569,559千円となりました。主な要因は、株式会社サンリオと資本業務提携契約を締結し、同社を割当先とする第三者割当による自己株式の処分を行ったことにより資本剰余金は1,278,896千円増加し、自己株式の処分及び株式給付信託（J-ESOP）における株式給付等により自己株式は417,596千円減少しました。また、親会社株主に帰属する中間純利益の計上及び配当金の支払等の結果、利益剰余金が45,302千円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末と比べ926,630千円増加し、5,566,555千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、454,830千円（前年同期は1,021,348千円の減少）となりました。これは主に、売上債権の減少額が1,325,950千円、税金等調整前中間純利益が296,007千円、減価償却費が182,816千円、一方、前受金の減少額が537,346千円、受注損失引当金の減少額が257,242千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、953,216千円（前年同期は351,641千円の減少）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出が800,000千円、映像マスター等の有形固定資産の取得による支出が146,024千円、コンテンツ資産等の無形固定資産の取得による支出が3,619千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の増加は、1,410,224千円（前年同期は494,301千円の減少）となりました。これは主に、自己株式の売却による収入が1,625,925千円、一方、配当金の支払額が211,455千円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月期の業績予想につきましては、2025年7月11日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当中間連結会計期間 (2025年11月30日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	4,650,042	6,376,672
売掛金及び契約資産	5,415,679	4,089,755
商品及び製品	166,653	180,151
仕掛品	20,417	25,767
貯蔵品	8,719	8,899
前渡金	141,362	28,726
その他	243,183	254,726
貸倒引当金	△2,868	△658
流动資産合計	10,643,190	10,964,041
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	468,131	471,869
土地	651,249	651,249
映像マスター（純額）	251,375	257,184
その他（純額）	236,587	222,788
有形固定資産合計	1,607,344	1,603,092
無形固定資産		
コンテンツ資産	27,822	30,461
その他	64,753	60,433
無形固定資産合計	92,576	90,895
投資その他の資産		
投資有価証券	285,825	307,231
繰延税金資産	102,853	101,393
その他	360,299	363,286
投資その他の資産合計	748,978	771,910
固定資産合計	2,448,899	2,465,898
資産合計	13,092,090	13,429,939

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当中間連結会計期間 (2025年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	898,048	849,919
未払金	162,373	194,441
未払印税	351,110	311,466
未払法人税等	475,194	36,264
前受金	1,212,374	675,028
預り金	439,993	443,757
賞与引当金	—	1,086
役員賞与引当金	78,688	18,714
株式給付引当金	69,252	—
受注損失引当金	511,792	254,549
その他	687,884	692,791
流動負債合計	4,886,712	3,478,018
固定負債		
退職給付に係る負債	127,085	125,825
役員退職慰労引当金	106,263	111,257
繰延税金負債	18,145	19,537
その他	124,488	125,741
固定負債合計	375,982	382,361
負債合計	5,262,694	3,860,380
純資産の部		
株主資本		
資本金	781,500	781,500
資本剰余金	2,258,560	3,537,457
利益剰余金	5,193,036	5,238,339
自己株式	△417,660	△64
株主資本合計	7,815,436	9,557,232
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	13,958	12,327
その他の包括利益累計額合計	13,958	12,327
純資産合計	7,829,395	9,569,559
負債純資産合計	13,092,090	13,429,939

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年11月30日)
売上高	7,689,001	6,210,164
売上原価	6,079,799	5,139,845
売上総利益	1,609,201	1,070,318
販売費及び一般管理費	783,452	822,202
営業利益	825,749	248,116
営業外収益		
受取利息	818	5,754
持分法による投資利益	10,034	22,819
為替差益	—	22,864
受取賃貸料	11,735	12,741
その他	3,448	6,758
営業外収益合計	26,036	70,937
営業外費用		
支払利息	46	—
為替差損	837	—
賃貸収入原価	11,171	10,249
投資事業組合運用損	1,294	1,295
雑損失	7,189	5,601
弔慰金	—	5,000
その他	863	901
営業外費用合計	21,403	23,047
経常利益	830,382	296,007
特別損失		
減損損失	1,222	—
特別損失合計	1,222	—
税金等調整前中間純利益	829,159	296,007
法人税、住民税及び事業税	397,908	35,636
法人税等調整額	△19,243	2,852
法人税等合計	378,665	38,489
中間純利益	450,494	257,518
非支配株主に帰属する中間純損失（△）	△23,286	—
親会社株主に帰属する中間純利益	473,780	257,518

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年11月30日)
中間純利益	450,494	257,518
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,610	△1,631
その他の包括利益合計	△1,610	△1,631
中間包括利益	448,883	255,886
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	472,169	255,886
非支配株主に係る中間包括利益	△23,286	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	829,159	296,007
減価償却費	1,280,457	182,816
減損損失	1,222	—
長期前払費用償却額	16	15
貸倒引当金の増減額（△は減少）	40	△2,210
受注損失引当金の増減額（△は減少）	△13,893	△257,242
賞与引当金の増減額（△は減少）	1,020	1,086
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△95,801	△59,974
株式給付引当金の増減額（△は減少）	—	△69,252
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	3,244	△1,260
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	4,994	4,994
受取利息及び受取配当金	△818	△5,754
為替差損益（△は益）	837	△22,864
支払利息	46	—
持分法による投資損益（△は益）	△10,034	△22,819
投資事業組合運用損益（△は益）	1,294	1,295
売上債権の増減額（△は増加）	△1,703,015	1,325,950
棚卸資産の増減額（△は増加）	△18,125	△19,027
立替金の増減額（△は増加）	1,239	△3,781
仕入債務の増減額（△は減少）	△166,450	△48,058
未払印税の増減額（△は減少）	△895,593	△39,643
未払金の増減額（△は減少）	△29,234	9,679
預り金の増減額（△は減少）	28,637	3,763
前受金の増減額（△は減少）	△477,184	△537,346
前渡金の増減額（△は増加）	△23,957	112,635
未収消費税等の増減額（△は増加）	55,978	△12,651
未払消費税等の増減額（△は減少）	82,669	△165,633
その他	331,798	255,286
小計	△811,453	926,011
利息及び配当金の受取額	818	5,754
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△210,713	△476,935
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,021,348	454,830
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△800,000
有形固定資産の取得による支出	△299,092	△146,024
無形固定資産の取得による支出	△47,157	△3,619
投資有価証券の取得による支出	△20,011	—
保険積立金の積立による支出	△1,357	△1,206
保険積立金の解約による収入	24,779	—
差入保証金の差入による支出	△4,271	△3,146
その他	△4,530	779
投資活動によるキャッシュ・フロー	△351,641	△953,216

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△200,000	—
配当金の支払額	△288,532	△211,455
リース債務の返済による支出	△5,657	△4,169
自己株式の取得による支出	△111	△75
自己株式の売却による収入	—	1,625,925
財務活動によるキャッシュ・フロー	△494,301	1,410,224
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,223	14,792
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,871,515	926,630
現金及び現金同等物の期首残高	7,746,825	4,639,924
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,875,309	5,566,555

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年6月17日開催の取締役会決議に基づき、株式会社サンリオと資本業務提携契約を締結し、同社を割当先とする第三者割当による自己株式の処分（929,100株）を行いました。

この結果、前連結会計年度末と比べ、資本剰余金は1,278,896千円増加し、自己株式は347,028千円減少しました。

また、株式給付信託（J-ESOP）における株式給付等により、自己株式は70,644千円減少しました。

当第2四半期連結会計期間末において、資本剰余金は3,537,457千円、自己株式は64千円となっています。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自 2024年6月1日 至 2024年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計
	映像制作 事業	出版 事業	版権 事業	商品販売 事業	計		
売上高							
TV・配信・ビデオ用のアニメ映像制作	2,602,575	—	—	—	2,602,575	—	2,602,575
劇場用のアニメ映像制作	150,867	—	—	—	150,867	—	150,867
その他のアニメ映像制作	510,024	—	—	—	510,024	—	510,024
コミック・書籍の出版販売	—	202,817	—	—	202,817	—	202,817
電子書籍の販売	—	970,030	—	—	970,030	—	970,030
映像コンテンツの版権料	—	—	2,037,371	—	2,037,371	—	2,037,371
出版物に係る原作印税収入	—	—	155,559	—	155,559	—	155,559
商品の販売等	—	—	—	245,311	245,311	—	245,311
その他	55,025	—	19,603	—	74,628	119,734	194,362
顧客との契約から生じる収益	3,318,493	1,172,848	2,212,534	245,311	6,949,186	119,734	7,068,921
その他の収益 (注) 2	—	—	620,080	—	620,080	—	620,080
外部顧客への売上高	3,318,493	1,172,848	2,832,614	245,311	7,569,267	119,734	7,689,001
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,318,493	1,172,848	2,832,614	245,311	7,569,267	119,734	7,689,001
セグメント利益又は損失(△)	△699,097	260,556	1,275,998	59,854	897,311	853	898,165

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)出稿や講師等を行っています。

2. 「その他の収益」には、製作委員会への出資から生じる収益の分配などの企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」に基づく収益を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	897,311
「その他」の区分の利益	853
全社費用（注）	△72,416
中間連結損益計算書の営業利益	825,749

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産にかかる重要な減損損失)

当中間連結会計期間において、「映像制作事業」に係る減損損失1,222千円を計上しております。

II 当中間連結会計期間（自 2025年6月1日 至 2025年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計
	映像制作 事業	出版 事業	版権 事業	商品販売 事業	計		
売上高							
TV・配信・ビデオ用 のアニメ映像制作	2,962,167	—	—	—	2,962,167	—	2,962,167
劇場用のアニメ映像 制作	232,411	—	—	—	232,411	—	232,411
その他のアニメ映像 制作	619,250	—	—	—	619,250	—	619,250
コミック・書籍の出 版販売	—	178,742	—	—	178,742	—	178,742
電子書籍の販売	—	899,088	—	—	899,088	—	899,088
映像コンテンツの版 権料	—	—	451,300	—	451,300	—	451,300
出版物に係る原作印 税収入	—	—	103,342	—	103,342	—	103,342
商品の販売等	—	—	—	185,711	185,711	—	185,711
その他	△1,941	—	24,239	—	22,298	116,818	139,117
顧客との契約から生 じる収益	3,811,889	1,077,830	578,882	185,711	5,654,314	116,818	5,771,132
その他の収益 (注) 2	—	—	439,031	—	439,031	—	439,031
外部顧客への売上高	3,811,889	1,077,830	1,017,913	185,711	6,093,345	116,818	6,210,164
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,811,889	1,077,830	1,017,913	185,711	6,093,345	116,818	6,210,164
セグメント利益又は 損失(△)	△310,266	120,674	641,307	△96,444	355,270	△4,782	350,488

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)出稿や講師等を行っています。

2. 「その他の収益」には、製作委員会への出資から生じる収益の分配などの企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」に基づく収益を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	355,270
「その他」の区分の損失	△4,782
全社費用（注）	△102,371
中間連結損益計算書の営業利益	248,116

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第4四半期連結会計期間から、「その他」に含まれていた「商品販売事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。なお、前中間連結会計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法により作成したものを開示しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産にかかる重要な減損損失)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。